

(様式第 9)

山口大学
平成 21 年 1

厚生労働大臣

殿

開設者名 松崎 益

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	32	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	237 人	79.2 人	316.2 人	看護業務補助	30 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	10 人	9.6 人	19.6 人	理学療法士	6 人	臨床検査技師	45 人
薬剤師	36 人	0.8 人	36.8 人	作業療法士	3 人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5 人	その他	人
助産師	21 人	人	21 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	581 人	23 人	604 人	臨床工学技士	10 人	医療社会事業従事者	2 人
准看護師	1 人	人	1 人	栄養士	3 人	その他の技術員	25 人
歯科衛生士	1 人	0.8 人	1.8 人	歯科技工士	1 人	事務職員	194 人
管理栄養士	8 人	人	8 人	診療放射線技師	30 人	その他の職員	37 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	586.9 人	15.9 人	602.8 人
1日当たり平均外来患者数	1,320.6 人	49.5 人	1,370.1 人
1日当たり平均調剤数		2,278 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	1人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	8人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。)	有・無	24人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限り、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時に限り。)) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	18人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	27人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	2人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	27人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	35人
・多発性硬化症	47人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	48人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	33人
・全身性エリテマトーデス	91人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	23人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	43人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	76人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	53人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・結節性動脈周囲炎	7人	・混合性結合組織病	14人
・潰瘍性大腸炎	125人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	14人	・特発性間質性肺炎	5人
・ピュルガー病	28人	・網膜色素変性症	16人
・天疱瘡	12人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	27人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	70人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	139人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	73人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC 8回, 胸部カンファレンス 11回, 23症例		
剖検の状況	剖検症例数	33 例	剖検率 15.0 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

1/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変に対する自己骨髄細胞の線維化溶解メカニズムの解明と癌病変への影響について	坂井田 功	第一内科	4,400,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
血管観察トランスジェニックメダカを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解析	坂井田 功	第一内科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高輝度白色LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発(肝臓再生療法に有用な間葉系幹細胞自動分離装置の開発)	坂井田 功	第一内科	48,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	坂井田 功	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
転写因子アイディ2の発現に基づく肝癌に対する新規化学療法の開発	飯塚 徳男	第一内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
鉄キレート剤による新たな進行肝細胞癌治療の開発	山崎 隆弘	第一内科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小型水棲生物の栄養代謝測定手法に関する研究	寺井 崇二	第一内科	4,298,700	補 委 独立行政法人宇宙航空研究開発機構
C型慢性肝炎の肝発癌における肝ミトコンドリア障害の意義	是永 匡紹	第一内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ラットモデルを用いた新規肝性脳症モデルの開発と解析	瀬川 誠	第一内科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
細胞内ナドメイン機能制御による心不全治療法の開発	松崎 益徳	第二内科	10,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発(近赤外線、超音波等を利用する高性能動脈硬化診断システムの開発)	松崎 益徳	第二内科	56,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	松崎 益徳	第二内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
突発性心筋症に関する調査研究	松崎 益徳	第二内科	1,100,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
リアノジン受容体内シグナル伝達 改善による新しい心不全・不整脈 治療法の開発	矢野 雅文	第二内科	8,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心不全発症機序に関する基礎的 および臨床的検討	矢野 雅文	第二内科	1,500,000	補 委 国立循環器病セン ター
ギャップ結合リモデリングの制御を 標的とした不整脈の新しい治療の 開発	大草 知子	第二内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
リアノジン受容体分子内特定ドメイ ンをターゲットとした致死的不整 脈の新しい治療	山本 健	第二内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
冠動脈粥腫の不安定性を定量評 価しうるマルチファンクショナル血 管内エコー法の開発	廣 高史	第二内科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞内カルシウム放出制御による 新しい悪性高熱症・不整脈の治 療開発	小林 茂樹	第二内科	1,800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病を進行させるβ細胞死のメ カニズム解明と治療法の開発	谷澤 幸生	第三内科	5,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小胞体ストレスによるインスリン分 泌障害と糖尿病治療法開発	谷澤 幸生	第三内科	4,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
糖尿病診療均てん科のための標準的 診療マニュアル作成とその検証ーガ イドラインを実用化するためのシステ ム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	1,400,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
新規GLUT4結合蛋白による新た なインスリン依存性糖取り込み調 節機構の解明	奥屋 茂	第三内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規糖輸送促進蛋白CLIP170 の機能解析	江本 政広	第三内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

3/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
血液脳関門・血液神経関門を標的とした難治性神経疾患発症機構の解明と新規治療法開発	神田 隆	神経内科	4,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
三次元的ヒト血液脳関門モデルの構築:抗アミロイド抗体作用機序の解明	神田 隆	神経内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
免疫制神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
オリゴ糖複合体形成に伴う分子相同性:カンピロバクター感染後性神経疾患での証明	古賀 道明	神経内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ストレス脆弱性モデル動物における神経形態学的変化と神経可塑性異常の検討	渡邊 義文	精神科神経科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒトを対象にした精神疾患の生物学的病態解明に関する研究	渡邊 義文	精神科神経科	3,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	渡邊 義文	精神科神経科	870,000	補 委	国立精神・神経センター
気分障害の薬物治療反応予測に関する生物学的指標の検索	渡邊 義文	精神科神経科	1,100,000	補 委	国立精神・神経センター
気分障害の発症機序における選択的スプライシング異常の検討	内田 周作	精神科神経科	2,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	内田 周作	精神科神経科	2,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
双極性障害における選択的スプライシング機構異常と薬物治療反応性に関する研究	江頭 一輝	精神科神経科	1,900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
気管支喘息での単球マクロファージのロイコトリエン受容体の気道リモデリングへの関与	市山 高志	小児科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

4/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	市山 高志	小児科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
心筋幹細胞の由来の同定と心筋再生治療への応用	濱野 公一	第一外科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己骨髄細胞移植による血管再生療法の治療効果を予測するシステムの確立	濱野 公一	第一外科	6,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
低酸素プレコンディショニングによる骨髄細胞の血管再生能の増強と臨床への展開	古谷 彰	第一外科	5,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メカニカルストレスが心筋再生に及ぼす影響とその分子・細胞学的機序の解明	美甘 章仁	第一外科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Inflammasome抑制による薬物的大動脈瘤根治療法の開発	吉村 耕一	第一外科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血プレコンディショニングによる心筋保護作用の機序の解明——幹細胞の視点から	森景 則保	第一外科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
I 期原発性肺腺癌におけるDNA損傷応答蛋白発現の臨床的意義	田中 俊樹	第一外科	1,400,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
TGF- β シグナル系に着目した急性大動脈解離の発症機序の解明とその治療法の開発	小林 俊郎	第一外科	1,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
肝癌データベースに基づく早期肝癌特異的メチル化遺伝子の同定と機能解析	岡 正朗	第二外科	1,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

5/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝癌の網羅的遺伝子および蛋白解析に基づく新規診断と創薬の研究開発	岡 正朗	第二外科	4,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
大腸癌化学療法における抗癌剤の毒性と患者の遺伝子多型に関する研究	裕 彰一	第二外科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発(遺伝子解析データベースを基盤とした肝癌における個別化医療システムの開発)	岡 正朗	第二外科	64,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法比較検討)	岡 正朗	第二外科	189,000	補 委 財団法人がん集学的治療財団
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	岡 正朗	第二外科	1,890,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 遺伝子・細胞治療に携わる臨床研究者育成	岡 正朗	第二外科	5,007,480	補 委 文部科学省
良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ) 細径管と管腔臓器を吻合する外科用吻合補助器の実用化	上野 富雄	第二外科	3,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
DNA修復酵素ーメチルグアニンメチル基転移酵素をターゲットとした膵癌分子標的治療	上野 富雄	第二外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いた膵癌の発癌関連蛋白質の検討と早期診断マーカーの検出	高島 元成	第二外科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達手段等に関する研究	田口 敏彦	整形外科	900,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
他人からの手、足同種移植の臨床応用に向けてーキメラリズムによる安定した免疫寛容獲得	村松 慶一	整形外科	1,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

6/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乾癬発症関連遺伝子群の解明と最適化治療開発への応用	武藤 正彦	皮膚科	800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	1,100,000	補 委 山口県
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌の診断治療方針決定システムの確立をめざして	松山 豪泰	泌尿器科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子多型が腫瘍の進展・予後および腫瘍細胞の癌関連遺伝子変化に及ぼす影響	坂野 滋	泌尿器科	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
眼組織の再生に関する研究	西田輝夫	眼科	5,000,000	補 委 独立行政法人科学 技術振興機構
角膜上皮創傷治癒過程における神経ガイダンス因子の機能解析	高 知愛	眼科	2,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
角膜ヘルペス患者涙液及び前房水中の単純ヘルペスウイルス由来タンパクの検出	山田 直之	眼科	1,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
春季カタルの巨大乳頭形成におけるMCP-1の作用機序に関する検討	藤津 揚一朗	眼科	2,000,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
創傷治癒過程における角膜実質ネットワークと細胞動態の評価	森重 直行	眼科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
環境酸素濃度に対する角膜構成細胞の増殖, 細胞死, 細胞機能に関する研究	柳井 亮二	眼科	1,700,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
熱ショック応答による内耳保護機構の解明と臨床応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

7/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
いびきの音響解析と三次元CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	3,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内耳障害時のミトコンドリアにおけるシグナル伝達の役割	菅原 一真	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
活性酸素を介した生殖戦略:黄体機能調節における生理活性物質としての活性酸素の役割	杉野 法広	産科婦人科	2,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
化学物質の子供への健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発	杉野 法広	産科婦人科	4,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
腫瘍抑制性セルピンであるマスピンの子宮頸癌の進展制御機構に関する研究	縄田 修吾	産科婦人科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
SCC抗原の結合分子の検索と機能解析、臨床的意義の解明および分子標的治療への応用	村上 明弘	産科婦人科	2,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高気圧酸素による虚血耐性誘導を応用した脳血管障害の新規予防・治療戦略の開発	坂部 武史	麻酔科蘇生科	3,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
エリスロポエチンとインスリン様成長因子1の脊髄保護効果の検討とシグナル伝達の解明	松本 美志也	麻酔科蘇生科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
全身の炎症反応が脳虚血および低体温による脳保護効果へ及ぼす修飾作用	石田 和慶	麻酔科蘇生科	1,700,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
神経作動薬を用いた脳腫瘍幹細胞ターゲット療法の開発	吉川 功一	麻酔科蘇生科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
一過性脳虚血再灌流後の脳血管反応性変化に及ぼす活性酸素種の影響に関する研究	飯田 靖彦	麻酔科蘇生科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遅発性神経細胞死における細胞内エネルギー代謝調節酵素に関する研究	福田 志朗	麻酔科蘇生科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

8/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性脳障害の分子機構における好中球エラスターゼの役割に関する検討	平田 孝夫	麻酔科蘇生科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
局所脳冷却による大脳神経生理機能の解明と制御ー臨床応用をめざしてー	鈴木 倫保	脳神経外科	3,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
QSPECTに基づく脳血管反応性改善の評価法の妥当性	鈴木 倫保	脳神経外科	1,700,000	補 委 国立循環器病センター
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	800,000	補 委 国立循環器病センター
乳児期脊髄脂肪腫の自然歴および予防的手術の適用に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	1,000,000	補 委 国立精神・神経センター
血管内微細振動子による血栓の破碎と低侵襲回収療法の開発	加藤 祥一	脳神経外科	700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
連続気孔構造を有する炭酸アパタイトフォームの顎骨再建材料としての有用性	上山 吉哉	歯科口腔外科	3,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
術中の頭位および顎位変化に即応できるリアルタイム口腔外科手術ナビゲーターの開発	森 悦秀	歯科口腔外科	3,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ギメラシルのDNA損傷応答を標的とした放射線増強効果とその治療応用への基礎的検討	三原 眞理子	歯科口腔外科	1,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析とプロテオームデータベース構築による救命救急傷病の病態解明	前川 剛志	救急医学	23,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい蘇生後脳症予後判定マーカーは善玉か悪玉か？	泉 友則	救急医学	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脳の発達にとって良い環境と悪い環境が鑑別できるか？	富士岡 隆	救急医学	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

9/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ICU入室患者に対するせん妄の新しい診断法の有用性と危険因子	鶴田 良介	先進救急医療センター	300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心肺停止蘇生後における予後予測マーカー(GAP)の測定	金子 唯	先進救急医療センター	1,400,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
細胞表面抗原分子を標的とした免疫治療	日野田 裕治	臨床検査医学	9,000,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
高輝度LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発(高演色性白色LEDを用いた内視鏡の開発と消化器疾患の診断・治療への応用)	檜垣 真吾	光学診療部	20,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究-心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として-(略称:MAGIC研究)	檜垣 真吾	光学診療部	1,600,000	補委 財団法人循環器病研究振興財団
エビデンスレベルの高い診断検査関連の研究論文作成支援システムの構築とその評価	石田 博	医療情報部	2,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
超音波組織トラッキングによる左室心基部と心尖部での拡張開始時相差と拡張機能の検討	村田 和也	検査部	2,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
進行肝細胞癌に対する腫瘍抗原mRNA導入樹状細胞療法	為佐 卓夫	手術部	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄虚血後の遅発性対麻痺の病態と炎症性メディエータの関与	山下 敦生	手術部	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ウイルス由来のペプチドを利用した心臓標的療法の開発	河村 修二	臨床試験支援センター	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
双胎間輸血症候群の発症機序と病態の解明	中田 雅彦	周産母子センター	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	6,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

10/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
テロの可能性のある病原体等の早期検知・迅速診断法の開発とその評価法の確立に関わる研究	尾家 重治	薬剤部	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
低頻度染色体異常児をもつ両親と看護師間における関係性の定量的評価法の確立	飯野 英親	看護部	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

計 2

合計 110

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Liver Int. 2008 Jan;28(1):117-25.	A new hepatic encephalopathy model to monitor the change of neural amino acids and astrocytes with behaviour disorder.	Isobe-Harima Y, Terai S, Miura I, et al.	第一内科
Mol Carcinog. 2008 Jan;47(1):1-8.	Hypermethylation status of APC inversely correlates with the presence of submucosal invasion in laterally spreading colorectal tumors.	Hashimoto K, Shimizu Y, Suehiro Y, et al.	第一内科
Gastroenterology. 2008 Jan;134(1):226-38.	Hepatitis C virus-induced reactive oxygen species raise hepatic iron level in mice by reducing hepcidin transcription.	Nishina S, Hino K, Korenaga M, et al.	第一内科
Liver Int. 2008 Jan;28(1):146-7.	Serum S100b (astrocyte-specific protein) is a useful marker of hepatic encephalopathy in patients with fulminant hepatitis.	Isobe-Harima Y, Terai S, Segawa M, Uchida K, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2008 Mar 14;367(3):546-52.	Continuous high expression of XBP1 and GRP78 is important for the survival of bone marrow cells in CCl4-treated cirrhotic liver.	Marumoto Y, Terai S, Urata Y, et al.	第一内科
Gastrointest Endosc. 2008 Apr;67(4):723	Ulceration after arterial microcoil embolization.	Ooishi T, Nishikawa J, Satake M, Fukagawa Y, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科
Liver Int. 2008 Sep;28(8):1158-66.	Mitochondrial electron transport inhibition in full genomic hepatitis C virus replicon cells is restored by reducing viral replication.	Ando M, Korenaga M, Hino K, et al.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2008 Sep;23(9):1349-53.	Autologous bone marrow cell infusion therapy for liver cirrhosis.	Sakaida I.	第一内科
Hepatol Res. 2008 Jun;38(6):557-64.	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter study.	Iwasaki S, Ohira H, Nishiguchi S, Zeniya M, Kaneko S, Onji M, Ishibashi H, Sakaida I, Kuriyama S, Ichida T, Onishi S, Toda G; Study Group of Intractable Liver Diseases for Research on a Specific Disease, Health Science Research	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2008 Jul;23(7 Pt 1):1046-50.	Prospective randomized study on the use of a computer-based endoscopic simulator for training in esophagogastroduodenoscopy.	Shirai Y, Yoshida T, Shiraishi R, et al.	第一内科